



代っ子通信

令和7年8月19日
<第24号>
校長 平塚智康

平和集会 ~ 戦後80年目の夏 戦争や原爆、平和について考える ~

8月6日の全校登校日に平和集会を行いました。日本は世界で唯一の核被爆国であり、8月6日や9日に、戦争や核兵器について学び平和について考える機会を持つことは、日本人としてとても大切なことだと考えています。

平和集会では、まず私が、昭和の初めに起こった戦争のことや広島・長崎に落とされた原爆のことなどについてプレゼンしながら解説しました。そして、全校みんなで、「平和の子ら」（平和を希求するピースソング）を歌いました。集会の後は、各教室に戻り、運営委員会による、戦争や原爆を題材とした絵本の読み聞かせ動画を視聴しました。私のプレゼンには少し難しい内容もありましたが、暑い中にもかかわらず、子どもたちは一生懸命話を聞いてくれました。そして、集会終了後、それぞれに、戦争や平和について考えたことを綴ってくれました



<「平和の子ら」の歌を歌う >



<読み聞かせ動画の視聴>

1年 OO OO

しうがくせいなのに、じゅうをつかってくんれんしていてびっくりしました。げんしばくだんがこわいなあとおもいました。

1年 OO OO

せんそうはひとのいのちをうばったりして、たたかったりばくだんをおとされて、いのちをおとすのがこわいです。

1年 OO OO

げんしばくだんがおちてひろしまやながさきのひとたちがかわいそうでした。

2年 ○○ ○○

80年前の今日は、せんそうをしていたことがわかりました。日本もちゅうごくにけんかのもととなることをして、日本もわるいことをしてしまったなと思いました。

2年 ○○ ○○

へいわとせんそうのちがいがわかったからよかったです。せんそうのことを学べてよかったです。ちがう町の人、知らない人、今せんそうをしている外国ともへいわに、なかよくしたいです。

3年 ○○ ○○

こうちゅうせんせいのはなしで、むかしはせんそうがあつたみたいへんでこわいこともあつたんだなとおもいました。むかしは、がっこうでもせんそうのためのくんれんがあつたとしつて、びっくりしました。いまはせんそうがなくてうれしいです。せんそうのときは、ごはんもだんだんたべられなくなつて、かぞくとはなれることもあつたなんてきっとさみしいとおもいます。

3年 ○○ ○○

じっさいにせんそうはおきているから、これからは自分たちでせんそうはとてもきけんなものだということを世界中につたえていきたいです。

4年 ○○ ○○

校長先生のお話を聞き、わたしは自分じしんが今できることをかんがえました。まず、クラスやペアの人となかよくすることだと思いました。げんばくのひがいで、10年の月日がたつても、がんやびょうきになることもまなべました。ヒロシマやナガサキにじっさいに行って学んでみようと思いました。あらそいは、むだなことだと思いました。わたしは自分をもっとよくしたいと思いました。

4年 ○○ ○○

昔の小学生は、戦う練習をさせられたり、兵器を作る工場で働かされたりしていたことが分かって、かわいそうだなと思いました。もう二度と戦争なんて起こらないでほしいし、ロシアやウクライナの戦争もやめてほしいなと思いました。

4年 ○○ ○○

わたしはさだこさんの本を何回も読んだことがあるけど、とてもかわいそうだし、さだこさんはとってもつらい思いをしたのだと分かり、わたしはぜつたい大人になつても戦争はしません！世界全体が平和になり、仲良くできるようにしたいです。「平和の子ら」の歌は、とっても良い思いやねがいがこもっていて、平和へのねがいや思いが伝わります。これからも平和がつづきますように。

5年 ○○ ○○

戦争はつらいなあと思いました。なぜかというと、例えば幸せな家族だったのに、戦争になり、お父さんが戦争に行くと、「帰ってこれないかも・・・」「もう死んでいるかも・・・」という不安やこわい気持ちになるからです。

さだ子は、「つるを千羽おると治る」と言われ、つるをおりつづけ、「体調だいじょうぶ?」「もうやめね。」といわれてもおりつづけたのに、千羽になる前に死んでしまったのは、悲しいなあと思いました。さだ子さんのお友達は、残りのつるを折ったり、さだ子のそをを作ろうとしたり、さだ子のためにいろいろしていてすごいなあと思いました。

5年 ○○ ○○

校長先生の話を聞いて、戦争というのはほんとうにこわいものだと思いました。15年間の戦争でたくさん的人がなくなつて、いろんな人が今も苦しんでいると思うから、もう二度と戦争をしたくないと思いました。広島では17万人以上の人人が、長崎では7万人以上の人人がなくなつて、私は戦争やげんばくがどれだけこわいものかが分かりました。

5年 ○○ ○○

校長先生のお話や「さだ子の思い」という絵本を聞いて、私は戦争はすごくこわいもので、戦争のときなどに日本におとされた原ばくで何年も後に病気でなくなるというこわさもあると改めて知りました。さだ子の銅像には原ばくでなくなったりした人たちの思いがこめられていると思いました。これからも8月6日に平和集会など、平和や戦争などについてしっかり考えるようにならいいなと思いました。また、世界が平和にならいいなと思いました。

6年 ○○ ○○

原子ばくだんはとてもこわいものだということが分かりました。理由は、絵本の読み聞かせで、げんばくの光をあびて10年もたっているのに死んだりお母さんのおなかの中にいてちょくせつけがかしたわけじゃないのに、死んでしまったからです。

自分は関係ないとかじやなくて、自分たち、日本の全員で、平和な日本を作りたいです。けんかをなくしたり、争うことをやめたりすることを、呼びかけたりできるかなと思いました。

6年 ○○ ○○

校長先生のお話を聞いて、戦争で何百万人もの人がなくなってしまったと聞いてびっくりしました。世界で戦争をして、食料がなくなって苦しくなったりして大変だったんだなとわかりました。読み聞かせでは、原子ばくだんでなくなってしまったり、ばくだんのえいきょうで何年後かになくなってしまうことがあるということもわかりました。もう戦争をしてはいけないと思ったし、ほかの国と仲良くなつて平和にならいいなと思いました。

6年 ○○ ○○

たくさんの命がうばわれた戦争が日本で起こり、しかも80年前に終わったばかりで、本当に体験してはいないけど、友達や家族などがいなくなってしまう悲しさやきょうふ、こわさに負けずに生きぬいた人たちはすごいなと思いました。戦争はもうあってはならないことなので、政治で「戦争をしたい！」といっている人に投票したりせずに、自分に出来るはんいで、戦争をおこさないようにしたいです。今日の話を聞いて、今、平和に暮らせていることが良いことだと思いました。これからは1日1日を大切にしたいです。

6年 ○○ ○○

ぼくは、平和集会を通じて、戦争で生き残つても、さだ子さんのように時間がたって死んでしまうという不幸なこともあるんだと思い、戦争は二度とあってはならないと思いました。

なので、ぼくたちが大人になったら、このようにならないようにしていきたいと思いました。それに、いま、ここで元気に生きていくことに感謝していきたいです。



<平和への願いを込めて>



明治・大正・昭和と、日本も世界の国々も、大きな戦争をくり返してきました。そして、現在も世界では戦争をしている国があります。持続可能な社会の創造が世界的に論議される今日、戦争を回避し平和を維持することこそ、人類にとって最も優先される課題であると思います。これから予測困難な時代を生きぬいていかなければならない子どもたちには、戦争や核兵器がいかに悲惨でむごたらしいものなのかを知り、どんなことがあっても、戦争という選択肢を選ばない、賢い国際人に成長していってほしいと願います。